

病害虫発生予報

第6号（9月予報）

令和5年8月30日
岐阜県病害虫防除所

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	9月予報	
			発生時期	発生量
水稻	穂いもち	岐阜・西濃、中濃地域	やや早	平年並
	ツマグロヨコバイ	岐阜・西濃、中濃地域	やや早	やや多
	トビイロウンカ	栽培地域全域	平年並	少
	斑点米カメムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	やや早	やや多
大豆	カメムシ類	栽培地域全域	—	やや多
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	やや多
かき	ハマキムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	やや早	やや多
なし	黒星病	栽培地域全域	—	やや多
果樹類	果樹カメムシ類	岐阜・西濃、中濃、東濃、飛騨地域	—	やや多
夏秋トマト	灰色かび病	中濃、東濃、飛騨地域	—	平年並
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	—	平年並
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	多
	タバコガ類	栽培地域全域	平年並	平年並
	アザミウマ類	栽培地域全域	—	平年並
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	—	やや多

※発生時期の—は連続発生

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）
<https://pesticide.maff.go.jp/>

【発生予報・根拠・注意事項等】

I 普通作物 1 水稻

穂いもち	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	やや早（9月第2半旬頃）	平年並

(1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少くなる要因を（-）で表記）

- ア 中晩生種の出穂期は、やや早いと予想される。
- イ 葉いもちの発病株（穂）率は、岐阜・西濃、飛騨地域でやや少～少なく（-）、中濃、東濃地域でやや高かった（+）。
- ウ 穂いもち発生ほ場率は、低かった（-）。
- エ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（-）、降水量は平年並～多い（±～+）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 出穂期以降の多雨は、本病の発生を助長するので、葉いもち多発ほ場では特に注意する。
- イ QoI 剤に対する耐性菌が確認されているため、薬剤の選択に注意する。
※ 病害虫図鑑「いもち病について」もあわせて参考にしてください。

ツマグロヨコバイ	対象地域	発生時期 <幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	やや早（9月第1半旬頃）	やや多

(1) 予報の根拠

- ア 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なく（－）、中濃地域で多かった（＋）。
- イ ほ場での発生量は、すくい取り（20回振り）で、岐阜・西濃地域で少なく（－）、中濃地域で多かった（＋）。払い落とし（25株）では、岐阜・西濃、中濃地域ともに多かった（＋）。
- ウ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 地域による発生量の差が大きいため、発生状況に注意する。
※ 病害虫図鑑「水稻 ツマグロヨコバイについて」もあわせて参考にしてください。

トビイロウンカ	対象地域	発生時期 <幼虫・成虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	－	少

(1) 予報の根拠

- ア 予察灯での誘殺数は、認められていない（－）。
- イ 8月下旬調査で発生は、認められていない（－）。
- ウ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 今後の発生状況等について、「病害虫情報」等に注意する。
※ 病害虫図鑑「水稻 セジロウンカ・トビイロウンカについて」もあわせて参考にしてください。

斑点米カメムシ類	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	やや早	やや多

(1) 予報の根拠

- ア 出穂期は、やや早と予想される。
- イ 予察灯でのカメムシ類の誘殺数は、岐阜・西濃地域のアカスジカメムシで少なく（－）、中濃地域のアカスジカメムシ、岐阜・西濃、中濃地域のアカヒゲホソミドリカメムシで多かった（＋）。
- ウ 本田では、イネカメムシ等の大型カメムシ類の発生が認められた（＋）。
- エ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 散布剤による防除は、穂揃期及びその7～10日後の2回を基本とする。
- イ 粒剤による防除は出穂期の7～10日後が基本となる。ただし、剤によっては施用時期が異なるため注意する。
- ウ イネカメムシに対しては、一般的な斑点米カメムシ類と異なり防除時期が早く、粒剤による防除は出穂期の5～10日前が防除適期となるため、前年の被害ほ場及びその近辺では防除時期に注意する。
※ 病害虫発生予察注意報第1号「水稻：斑点米カメムシ類」（令和5年8月4日）、病害虫図鑑「斑点米カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 大豆

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

- ア 予察灯への初飛来は、岐阜・西濃地域で早かった（＋）。
- イ 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域でやや多かった（＋）。
- ウ ほ場での発生は、岐阜・西濃地域で少なく（－）、東濃地域で多かった（＋）。
- エ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 雑草が多い地域や山間地など、地域、ほ場によって発生状況が異なるため注意する。

イ 播種が遅れたほ場については、防除時期に注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なかった（－）。

イ 白変葉の発生量は、岐阜・西濃地域で平年並（±）、東濃地域で低かった（－）。

ウ 他品目で設置したフェロモントラップにおける誘殺数は、やや多～多かった（＋）。

エ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

イ フェロモントラップを設置してモニタリングしているほ場では、今後の誘殺数に十分注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

II 果樹等作物

1 かき

ハマキムシ類	対象地域	発生時期<第4世代幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	やや早（10月第2半旬頃）	やや多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける第2世代成虫の誘殺最盛期は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキで早く（＋）、中濃地域のチャハマキで平年並であった（±）。

イ フェロモントラップにおける第2世代成虫誘殺数は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキで少なく（－）、中濃地域のチャハマキで平年並であった（±）。

ウ ほ場での第3世代幼虫被害果率は、岐阜・西濃地域で高く（＋）、中濃地域で低かった（－）。

エ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ヘタ部やつづりあわせた葉内などに生息するため、薬剤防除はていねいに行う。

※ 病害虫図鑑「かき ハマキムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 発病葉率は、岐阜・西濃地域で平年並（±）、中濃地域で多かった（＋）。

イ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は平年並～多い（±～＋）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 多発園では秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。

※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

3 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃、中濃、東濃、飛騨地域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯における成虫誘殺数は、岐阜・西濃、中濃、東濃地域で平年並（±）、飛騨地域で多かった（＋）。

イ フェロモントラップにおける誘殺数は、少なかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 気温、湿度が高く、風が弱い夜間に飛来が多くなるので注意する。
 ※ 病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

Ⅲ 野菜

1 夏秋トマト

灰色かび病	対象地域	発生量
	中濃、東濃、飛騨地域	平年並

- (1) 予報の根拠
 ア 8月下旬調査で発病果は、認められなかった(－)。
 イ 発病株率は、中濃、飛騨地域でやや低く～低く(－)、東濃地域でやや高かった(+)。
 ウ 向こう1ヶ月(8/26～9/25)の気象予報によれば、気温は高く(－)、降水量は平年並～多い(±～+)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 薬剤耐性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。
 ※ 病害虫図鑑「トマト 灰色かび病について」もあわせて参考にしてください。

2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

- (1) 予報の根拠
 ア 黄色水盤での誘殺数は、岐阜・西濃、飛騨地域でやや少～少なく(－)、中濃、東濃地域でやや多かった(+)。
 イ ほ場での発生は、認められなかった(－)。
 ウ 向こう1ヶ月(8/26～9/25)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並～多い(±～-)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。
 ※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

- (1) 予報の根拠
 ア フェロモントラップの誘殺数は、やや多～多かった(+)。
 イ サトイモでの発生は、岐阜・西濃地域で多く(+)、中濃地域で認められなかった(－)。
 ウ 向こう1ヶ月(8/26～9/25)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並～多い(±～-)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。
 ※ 病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類 (野菜類)	対象地域	発生時期 <若齢幼虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並 (9月第2半旬頃)	平年並

- (1) 予報の根拠
 ア 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺時期は、中濃地域で平年並(±)、東濃地域で遅かった(－)。タバコガの誘殺時期は、東濃地域で平年並であった(±)。
 イ 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、中濃、飛騨地域で平年並(±)、東濃地域で少なかった(－)。タバコガの誘殺数は、中濃、東濃地域で平年並(±)、飛騨地域でやや少なかった(－)。
 ウ 向こう1ヶ月(8/26～9/25)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並～多い(±～-)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

アザミウマ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア ナすほ場での発生は、岐阜・西濃、中濃地域でやや少～少なく（－）、東濃地域が多かった（＋）。

イ トマトほ場での発生は、認められなかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「キュウリ ミナミキイロアザミウマについて」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	やや多

(1) 予報の根拠

ア トマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、平年並であった（±）。

イ 向こう1ヶ月（8/26～9/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 発生はほ場ごとに差があるため、ほ場内をよく観察し発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【8月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：8月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
水稲	穂いもち	少	少	少	少
	紋枯病	多	少	少	やや少
	ツマグロヨコバイ	平年並	多	－	－
	セジロウンカ	少	多	多	少
	トビイロウンカ	少	少	少	少
	斑点米カメムシ類	やや多	多	－	－
大豆	カメムシ類	平年並	－	多	－
	ハスモンヨトウ	平年並	－	少	－
かき	ハマキムシ類	やや少	多	－	－
	カキノヘタムシガ	平年並	－	－	－
なし	黒星病	やや少	多	－	－
果樹共通	果樹カメムシ類	平年並	平年並	平年並	多
夏秋トマト	灰色かび病	－	やや少	やや多	少
野菜一般	アブラムシ類	少	やや多	やや多	やや少
	ハスモンヨトウ	やや多	多	多	－
	タバコガ類	－	平年並	やや少	平年並
	アザミウマ類	やや少	少	やや多	少
施設野菜	コナジラミ類	平年並	－	－	－

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料2]

【東海地方1か月気象予報】（抜粋）－名古屋地方気象台 令和5年8月24日発表－

《予想される向こう1カ月の天候（8月26日から9月25日）》

- ・暖かい空気に覆われやすいため気温は高いでしょう。
- ・平均気温は、高い確率が80%です。
- ・降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
- ・日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。
- ・週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率80%です。3～4週目は、高い確率60%です。

[向こう1ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率（%）]

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
平均気温	10	10	80
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

[気温経過の各階級の確率（%）]

	低い	平年並	高い
(1週目) 8/26～9/1	10	20	70
(2週目) 9/2～9/8	10	10	80
(3～4週目) 9/9～22	10	30	60

[参考資料3]

《用語の基準と使用法》

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 半旬 | 月の1～5日を第1半旬、6～10日を第2半旬と表す。 |
| 2 | 時期 | 平年並 平年値を中心として前後2日以内。
やや早い 平年値より3～5日早い。
やや遅い 平年値より3～5日遅い。
早い 平年値より6日以上早い。
遅い 平年値より6日以上遅い。 |
| 3 | 発生量 | 平年並 平年値を中心として、その値が±20%以内。
やや多い 平年値より、その値が21～40%多い。
やや少ない 平年値より、その値が21～40%少ない。
多い 平年値より、その値が41%以上多い。
少ない 平年値より、その値が41%以上少ない。 |
| 4 | 平年値 | 同一調査地点における過去10年間の値の平均値。 |

病害虫防除所ホームページに、病害虫発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病害虫の防除上の注意事項等については、「病害虫図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>